

## 第100回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成18年7月6日(木)12:30～15:30

場所：伊勢市観光文化会館 大会議室

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），海老原（東横女短大），苅田（JST），坂本（九州工業大），  
築島（三菱電機），水間（交通研），山田（金沢大），渡辺（FDK），  
矢野（産総研，代理乾）

幹事 水野（信州大），村井（JR東海）

幹事補佐 真田（大阪府立大），鳥居（武蔵工業大）

オブザーバ 楡井（群馬高専），平田（大阪大，代理乾），松村（金沢市異業種研修会館），  
森下（東芝）

## 提出資料

- 100-1 第99回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 100-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 100-3 第81回産業応用部門研究調査運営委員会報告（小豆澤委員長）
- 100-4 第18回電磁力関連のダイナミクスシンポジウム(SEAD18)報告書（小豆澤委員長）
- 100-5 リニアドライブ研究会のご案内（矢野委員）
- 100-6 平成18年電気学会産業応用部門大会における技術委員会展示コーナーについて（小豆澤委員長）
- 100-7 平成18・19年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 100-8 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 100-9 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会設置趣意書案（平田氏）
- 100-10 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会設置趣意書（案）（森下氏）
- 100-11 平成19年全国大会シンポジウム課題提案取り纏め依頼（小豆澤委員長）
- 100-12 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 100-13 リニアドライブ研究会（鳥居幹事補佐）
- 100-14 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）

## 議事

## 1 議事録確認

資料100-1を用いて議事録の確認を行い、日時：「2月3日」を「4月14日」に、「13:30～16:00」を「13:30～16:30」に、議事：「部門大会で」を「後日」に、それぞれ訂正の後、承認された。

## 2. 報告事項

2.1 資料100-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 資料100-3を用いて、小豆澤委員長より、第81回D部門研究調査運営委の報告があった。設置趣意書の様式が変更となり、「内外の趨勢」が「背景および内外機関における調査活動」と変更された。SLD委とLMD委の技術報告の状況確認が行われた。研究会の発表数が減少しており、合同研究会でみかけの数は維持されているが、実質は半減に近いとの問題提起があった。産業応用フォーラムについて、技委で最低年1回は開催することを目標として開催を促進してほしいとの依頼があった。さらに、共通英文論文誌が創刊されることが報告された。

2.3 資料100-4を用いて、小豆澤委員長より、電磁力シンポの報告があった。

2.4 資料100-5を用いて、乾氏より、10月LD研究会の紹介があった。10/26-27に東京電機大学神田校舎で開催され、申込締切は7/21である。

2.5 資料100-6を用いて、小豆澤委員長及び真田幹事補佐より、D部門大会の技術委員会展示用ポスタ作成への協力の依頼があった。

2.6 資料100-7を用いて、H~~17~~<sup>18</sup>・~~17~~<sup>18</sup>年度予定を確認し、以下の修正があった。

(1) LD技委：開催日を7/7から7/6に、10/6から9/29に、それぞれ修正。

(2) MLV委：8/1, 9/22の開催予定を追加。

(3) 関連会合に4/2-5 PCC Nagoya 2007(Nagoya, Japan), 5/16-18 電磁力シンポ(東京)を追加。

関連して村井幹事より、12月LD研究会が12/7,8に金沢で開催予定であり、申込締切が9/10であることの紹介が行われた。

2.7 資料100-8を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。MLV委解散報告書については、メール審議とすることとした。

### 3. 審議事項

3.1 資料100-9を用いて、真田幹事補佐より、新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。「電気」はエネルギー源、「磁気」は変換媒体であり、並列するのはどうかとの指摘があったが、検討の結果、原案通りとすることとした。空圧・油圧は含まれるのかとの質問に対し、含まれないとの回答があった。内容がMDD委に近いのではないかと指摘があり、前回の指摘を踏まえて、科研費アクチュエータとMDD委の中間を狙うイメージである、との回答があった。新規アクチュエータの創出というイメージを出した方が良い、とのコメントがあった。これを踏まえて8月末までに修正し、技委でメール審議し承認を得てから、さらに10月スタート目指して運営委でメール審議してもらうこととした。

3.2 資料100-10を用いて、森下氏より、磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。「(変位)」はどうすべきかの議論があり、明白なので削除することとした。若干の字句の修正が行われた後、原則承認とした。修正後メールで確認し、現委員会の解散報告書と共に提出することとした。

3.3 資料100-11を用いて、小豆澤委員長より、H19全国大会のシンポジウムの提案依頼があった。順番としてはECD委であり、増沢委員に問い合わせることとした。もしECD委の状況で提案が不可能なら、今回は見送ることもやむを得ないことが確認された。

3.4 小豆澤委員長より、古関論文幹事の後任の選定が提案された。論文委員会は、最近メールを活用して隔月開催となっているが、できれば在京もしくは近い方が望ましい。諸条件を鑑み、村井幹事を推薦することとした。

### 4 各調査専門委員会活動報告

資料100-12,13,14を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。MLV委からも状況報告があった。

### 5 その他

4/2-5に開催されるPCC Nagoya 2007で、リニアドライブのオーガナイズドセッション(オーガナイザーは古関委員から真田幹事補佐に交代)が予定されていることが紹介され、KERIからの発表を依頼してはどうかとの意見があった。Extended Summaryは9/15締切である。

以上